

**公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
令和7年度 第9回ハイブリッド開催定時理事会報告**

日 時：令和7年11月13日(木) 13時～16時30分

場 所：JSOS ビル 3F 会議室 5 及び Zoom

出席者：【理事】

町田幸男、廣川健太郎、畑中 渉（途中退席）、望月啓治、赤尾浩一、小田部拓、石井昭彦、吉田春彦、中橋沙羅、星 一男（第4号議案より参加）、石田英行、武田豊明、原 勇人、下村真一（第4号議案より参加）、蛭田伸一、野村善弥、古賀英年、前田善彦、安井博志、小高令子、栗田季慎子、中島隆之、（欠席）、平田伸也、奥井健吾、藤江理枝、（欠席）西原斗司男

理事出席者 24名 欠席者 2名

【監事】古屋寿隆、佐久間務

監事出席者 2名

1. 開会

2. 会長挨拶

10月下旬に全日本登山大会があり、各岳連の協力のもと成功裡に終えることができました。本日も議事が盛りたくさんですが、皆さんの積極的な参加と、効率的な議事運営にご協力をお願いします。

3. 会議成立状況報告

理事数 26名中24名出席 監事数 2名中 2名出席
(定款第33条、定足数=14名(過半数以上))

4. 議長選出 会長が議長をつとめる(定款第32条)

5. 議事録署名人 会長及び監事(定款第34条)

6. 議 題

議案第1号 前回理事会議事録の承認について

すでに、内容の確認は完了しており以下のとおり承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第2号 スポーツクライミング公認大会の承認について

栗田理事が、公認競技会申請が提出されている「Master of B LoC 2025」について配布資料を基に説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第3号 日山協山岳共済会と AUTHENTIC JAPAN 株式会社(ココヘリ)との提携について

望月専務理事が、9月提示案からの修正内容、委員会での審議状況、顧問弁護士の確認について説明し異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 21名

議案第4号 SC「JMCA 次世代アスリート育成プロジェクト」事業協賛に関する契約書及び覚書について

望月専務理事及び小田部常務理事が、内容や委員会での審議状況等を説明し、異議なく承認された。

棄権 0名 反対 0名 賛成 24名

議案第 5 号 第 80 回青森国スポ大会 SC 競技会実施要項案について

原理事が説明し、異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 24 名

議案第 6 号 2026 年新春懇談会の開催について

望月専務理事が説明し、日時、場所、実行委員会メンバー

(望月実行委員長、小高副実行委員長、及び他委員)について異議なく承認された。

なお、SC トップ選手たちの海外強化合宿と日程が重なることから、例年実施のトップ選手に係る催しを今回は省き別途行うことを確認した。また、事務局の繁忙期とも重なることから本催しの準備等に理事が積極的に関わって頂きたい旨のお願いが赤尾事務局長からあった。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 24 名

議案第 7 号 JMSCA 定例表彰及び日本山岳グランプリの取り扱いについて

望月専務理事が、定例表彰については例年どおりの内容で関係先へ通知すること、日本山岳グランプリについては 11 月末まで募集することを説明した。

なお、定例表彰について、規程の中に高体連に関する事項が欠落していることが指摘されたため、次回理事会までに規程を改定することとした。

以上の審議を踏まえ以下のように異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 8 号 令和 7 年度第 2 次補正予算について

望月専務理事が、SC 強化委員会で補正予算が 11/14 に提示されるのでそれを基に確定していく。12 月に最終報告する旨伝達し異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 9 号 2026～2030 年度中期計画の策定について

望月専務理事が資料を基に策定までの流れや方向性について説明した。最初の作業として 2025 年 12 月末までに委員会毎の振り返りを行うこと、ビジョンなどを検討する会を別途設けること、今年度中の策定予定などを提案し、異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

議案第 10 号 短期運転資金の確保に関する承認について

赤尾事務局長が、現状の資金繰り状況と、予算管理表を説明した後

12 月 15 日以降に、年度末に向けて政策金融機関から 4,000 万円を借入することを提案し、異議なく承認された。

棄権 0 名 反対 0 名 賛成 23 名

7. 報 告

報告第 1 号 11 月末時点の収支・キャッシュフローの状況について

赤尾事務局長が議案第 10 号でまとめて説明した。

報告第 2 号 後援名義承認申請への対応について (3 件)

望月専務理事から、「令和 7 年度雪崩防災週間」、

「2026 年度 山の知識検定(第 12 回)」、「「国際山の日」2025 シンポジウム

山と水 氷河と流域社会を考える」の 3 事業が、後援名義使用申請について、常務理事会で承認されたことを報告した。

- 報告第 3 号 公認夏山リーダーの資格認定について ((一社)京都府山岳連盟)
望月専務理事から、①宮井 秀樹 ②加芝 直志 の 2 名が常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 4 号 S C コーチ 1 専門科目検定合格の認定について (茨城県会場 11 名)
望月専務理事から、①赤須 喜一郎 ②飯田 大斗 ③伊藤 嘉奈子 ④柿崎 未羽 ⑤柿島 桂代
⑥小松崎 純一 ⑦佐竹 真之 ⑧佐藤 悠織 ⑨富岡 寿文⑩額賀 洋輔 ⑪福村 大 の 11 名が
常務理事会で承認されたことを報告した。
- 報告第 5 号 第 19 回 SKIMO 日本選手権 黒部・宇奈月温泉大会の ISMF (国際山岳スキー連盟) 公認申請について
小田部理事が、要項の説明と、当該認定で何ら追加負担がないこと、要件を満たしていることを説明し、ISMF に申請することを報告した。
- 報告第 6 号 (公社)日本オリエンテーリング協会からの委員推薦依頼について
望月専務理事が、(公社)日本オリエンテーリング協会から調査委員会への外部委員の推薦依頼があり、溝手弁護士、町田会長の 2 名を推薦することについて常務理事会で決定したことを報告した。
- 報告第 7 号 雪崩防災週間推進協議会の書面議決について
望月専務理事が、当協議会から書面議決の要請を受けていること、JMSCA が、雪崩防災週間推進協議会の構成委員であること、及び活動内容を紹介し、書面議決を進めることを報告した。
- 議案第 8 号 第 74 回日本スポーツ賞への推薦について
赤尾事務局長が、事前配布資料を基に説明し、昨年に引き続き安楽宙斗選手が推薦されていることを報告した。
- 報告第 9 号 令和 7 年度上半期中間監査報告と今後の対応について
望月専務理事が、配布資料を基に、会計士からの分析結果報告、上半期監事監査所見を紹介した。また、中間監査報告の指摘事項について、各専門部長に対応策のとりまとめを 12 月 8 日 (月) までにすることを要請したことを報告した。
- 報告第 10 号 令和 7 年度上半期の活動概要について
望月専務理事が、配布資料を基に、説明した。今後、事前に配布し、各理事、委員長が目を通し、追記するように依頼した。
- 報告第 11 号 令和 8 年度当初予算書提出依頼について
望月専務理事が配布資料を基に各委員会委員長あて (含む事務局長) に、12 月 26 日 (金) までに提出するように依頼した文書を紹介した。
- 報告第 12 号 登山月報経費削減の経過報告について
赤尾事務局長が、現状の配布数 (2,235 部) と、今後行うこと (岳連への更なる減冊への協力依頼) について説明した。
- 報告第 13 号 国スपोर्ट壁 4 ルート問題の対応について
原理事が、現状の状況報告を行った。11 月 28 日 (金) に三者会議を行う予定。
- 報告第 14 号 今後の役員派遣ほか渉外等について (11 月後半～12 月)

11 月 15～16 日 第 4 回リードフューチャーカップ（LFC2025） 愛媛県西条市
11 月 22～24 日 第 49 回山岳自然の集い 埼玉県小川町
11 月 27 日 （株）ゴールドウィン創立 75 周年記念式典
12 月 20～21 日 第 16 回全国高等学校選抜 S C 選手権大会 埼玉県加須市
12 月 6 日 （公社）日本山岳会創立 120 周年記念式典・祝賀会

8. その他

各委員会議事録について

google ドライブに作成した各部のフォルダ内に収納してください。（SC 部は既に収納済みであり、その他の部は同様な対応をお願いします。）

令和 7 年 1 1 月 1 3 日

記録

赤尾浩一